

# 子宮頸がん 早期発見カギ



病院の実力「婦人科がん」  
医療機関別2016年治療実績  
(読売新聞調べ)

## 婦人科がん

\* 大阪編 113



「20歳を超えたら子宮頸がん検診を受けて下さい」と語る上浦主任部長（大阪市中央区で）

大阪国際がんセンター

上浦祥司・婦人科主任部長

47.2Y(冊)

今回の「病院の実力」で取り上げた婦人科がんの治療は、妊娠の機能やホルモンのバランスと深く関わる。大阪国際がんセンター（大阪市）の上浦祥司・婦人科主任部長に治療方針などを聞いた。（沢本梓）

— 症例が多い子宮頸がんはどんな病気ですか。病院に来る人の多くは、

出血やおりものなどの症状で病気に気がきます。30歳代という若い世代でも発症

し、妊娠しても赤ちゃんを諦めなければならぬケースもあります。

初期のがんは手術で切除できますが、進行すると手術ができず、放射線や化学療法を行います。治療では「妊孕性」という妊娠できる機能や、卵巣機能を残すかどうか大きな選択になります。がんが初期であるほど、これらの機能を残せる可能性は高まります。少なくとも2年に1回は検診を受け、早期発見に努めてほしいです。

— 子宮体がんはどんな治療を行いますか。妊孕性を残したい場合、手術ではなく、ホルモン療法を行います。ただ、がんの進行度や種類が限られ、

再発のリスクも高いので、ホルモン療法でがんを抑えている間に妊娠・出産し、その後に子宮を切除するのが望ましいです。近年、保険適用になった腹腔鏡下手術は体への負担が軽く、患者さんの利点が大きいです。当センターでは術後4、5日で退院が可能です。今はごく初期のがんしか保険が認められませんが、今後、範囲が広がることが期待されます。

— 病院はどう選べいいですか。日本婦人科腫瘍学会では、婦人科腫瘍の専門医を育成する修練施設を全国で指定し、ホームページで公開しています。このような病院は症例数も多く、専門医がいるので、参考にしてみてください。

### 「子宮体」腹腔鏡下手術も

婦人科がんは、子宮の入り口（頸部）にできる子宮頸がん、胎児を育てる奥の部分（体部）にできる子宮体がん、子宮近くの卵巣にできる卵巣がんの三つに分かれる。比較的若い世代もかかる女性特有のがんだ。一覧表には、子宮頸がんの治療を行った患者数、子宮体がんに対して放射線療法・同時化学放射線療法を行った患者数、子宮体がん

の治療を行った患者数、子宮体がんに対して放射線療法・同時化学放射線療法を行った患者数、子宮体がん

子宮体がんは子宮体部を覆う子宮内膜にできた異常な細胞がもとになる。標準的な治療法は子宮と卵巣を切除する手術。早期では腹部に小さい穴を開けて実施する腹腔鏡下手術も可能で、傷口が小さくて済み。卵巣がんは当初は無症状で、進行してから見つかるケースも少なくない。手術に抗がん剤を加えるのが基本的な治療法となる。抗がん剤が効きやすい特性があり、投与間隔を短くして投与量を増やす方法もある。

医療機関名	子宮頸がん (人)	子宮頸がんの放射線療法・ 同時化学放射線療法(人)	子宮体がん (人)	子宮体がんの腹腔鏡下手術 (人)	卵巣がん (人)
大阪府					
大阪大	52	30	108	53	47
大阪国際がんセ	82	22	85	24	33
大阪医大	50	5	83	50	60
近畿大	45	11	59	32	41
大阪市大	57	16	43	6	35
関西医大	20	15	55	10	40
大阪市立総合医療セ	39	7	36	7	38
大阪労災	43	34	39	25	30
市立貝塚	29	11	58	18	23
大阪赤十字	29	10	31	11	31
府立急性期・総合医療セ	28	11	25	12	33
国・大阪医療セ	31	8	21	0	13
堺市立総合医療セ	16	5	28	9	19
大阪警察	17	10	23	2	19
日生	4	0	15	0	36
ベルランド総合	15	3	14	0	20
八尾市立	9	0	12	0	14
大阪はびきの医療セ	10	3	10	3	14
市立岸和田市民	11	0	13	0	8
市立豊中	6	3	18	0	6
吹田徳洲会	13	4	8	0	7
大阪鉄道	6	4	10	0	11
地・大阪	7	0	13	0	3
住友	0	0	5	0	5
大阪市立十三市民	5	0	2	0	3
大阪暁明館	0	0	3	0	2
医誠会	0	0	1	0	1

「国・」は国立病院機構、「地・」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター。

\* 全国の調査結果は「くらし健康・医療面」に掲載しています。